



Top League Data

数字でファーストステージを振り返る

印象とは違う 真実が明らかに!?

分析◎小川 孝明(データスタジアム)
構成◎村上晃一

シーズン前から大混戦が予想されたファーストステージは、王者サントリーサンゴリアスをNECグリーンロケッツが破るなど、波乱も相次いだ。セカンドステージでも、どんな熱戦を繰り広げられるのか興味は尽きない。本欄では、ファーストステージを、数字によって振り返ってみたい。数字で見るラグビーは、ファンの皆さんの観戦の楽しみを大いに刺激してくれるはず。トップリーグのデータ解析を担当する、データスタジアムの小川孝明さんにお話をうかがってみた。ぜひ、ご一読を。

コンタクト数では16チーム中、唯一4桁(1214回)に到達したサントリーサンゴリアス。タックルブレイク数も「197」でトップ

昨年より得点が減った!?

得点が昨年より減っています。トライ数は1試合あたり、3・14。トータル得点では、1チームの平均得点が昨年の27点から、24点と少し減っています。4トライ4ゴールを決め、28点を獲ることが、勝利に近づき、上位に進出する基準になっているというとも言えるでしょう。ひとつ興味深い数字があります。ボールをインゴールに持ち込んで、

グラウンディングできなかった数字がすでに昨年を超えています。昨年はグラウンディングの失敗が91試合で21回。今年はファーストステージの56試合で、すでに23回です。最後まであきらめないディフェンスも、トライが減っている要因だと推測できます。

数字で見るチーム別特徴

トップリーグ昇格2年目でグループAに進出したキヤノンイーグルスの特徴は、ラインブレイクされることの少なさです。第6節までは、ラインブレイクを8回しか許していませんでした。密集周辺もタッチライン際の外側の場所でも抜かれていない。非常にバランスのとれたディフェンスです。これが上位進出の理由だと思えます。しかし、最終節のヤマハ発動機戦では6回のブレイクを許しました。ディフェンスの堅いキヤノンを、ヤマハ発動機が切り崩していたということ。キヤノンがトライをとられる場所を数字で見ると、15mラインの外側が多い。これにより、相手のコンバージョンの成功率が抑えられているので、接戦をものにしていくだろうと推測できます。

セカンドステージの見どころ

数字的に一番分かりやすい対戦は、もともと得点の多いサントリーと、点を取られていないパナソニックの対戦でしょう。パナソニックは、ファーストステージで唯一二桁失点に抑えたチームです。タックル成功率、成功率も1位です。神戸製鋼は、ジャック・フリー、クレイグ・ウィングといった、人に強い選手が多い。タックルブレイク数は、チーム全体ではリーグ2位です。個人だと、フリーの16回がチームNO1ですが、リーグ全体の個人ランキングでは18位。つまり、いろんな選手がタックルブレイクを記録しています。この数を80分で換算して飛び抜けているのが、山中亮平選手です。アタックするときには、ボールキャリアになれる選手が多いのが神戸製鋼の特徴といえるでしょう。

トップリーグアプリの楽しみ方

こうしたデータは、各チームには渡っています。また、スマートフォンなどで見ることができるよう。

の位置が難しい角度だということもあるかもしれません。実は、PGの成功率が上がっていますが、コンバージョンが下がっているため、全体としてプレースキックの成功率は下がっています。日本代表が世界に勝っていくことを考えたとき、正確なプレースキックが必要であることを考えれば、無視できない数字です。

コンタクト数の増減は?

1試合平均のコンタクト数も3回ほどですが減っています。この原因をデータから推し量ると、インプレー時間(ボールが動いている時間)の減少があげられます。昨年は約33分今年が約32分です。一つの要因としては考えられるのが、スクラムの組み直しの増加です。昨年まで、スクラムの組み直しは、3年連続で20%を下回っていました。しかし、今年は20%を超えています。選手もレフリーも新しいルールにまだ適応できていないことがあるかもしれません。本来は、組み直しを減らす目的のルールが、移行期の現象として数字に出ているということでしょう。

ここ数年、観戦しているファンの皆さんは、コンタクト数上がり、ボールが動いているように感じている人が多いと思います。しかし、数字は印象とは違うのです。もちろん、これは平均ですので、サントリーのように、コンタクト数が多いチームの試合を見た場合、印象は昨

年と変わらないと思います。ボールのキープ率はサントリーだけが、60%を超えています。

ジャックルの成功率が高いチームは?

ジャックル(タックル後にボールを奪いに行く行為)の成功率も下がっています。これは、ジャックルにチャレンジする回数が増えたことによる減少です。1試合平均7回、チームに分けると、3・5回。サントリーはジョージ・スミスが存在もあって多いのは当然ですが、コカ・コーラウエストも数字は高い。個人では、桑水流裕策選手のジャックルの成功率は50%と高い数字を示しています。

第7節で、クボタスピアーズとコカ・コーラウエストという数字上の注目対決があったのですが、実はクボタはラックの成功率が最も高いチームで、コカ・コーラウエストは、ジャックルの成功率が高い。さて、どうなるかと思ったのですが、クボタは見事にラックの成功率をほぼキープし、勝利しました。コカ・コーラウエストは数字を落として



クボタスピアーズは、コンタクト数で「787回」と、全体の3位

ラグビートップリーグ公式アプリケーション」では、観戦を楽しむための、さまざまな数字を紹介しています。

選手名鑑などで各選手のプロフィールなども確認できて、ラグビーの選手をより身近に感じているだけだと思います。トップ画面の中の「DATA」から、さまざまなランキングもご覧になることができます。たとえば、「オフロード」(タックルされながらのパス)、「ライン

レイク」(完全に防御ラインを破る)も、選手ランキングがあります。「マッチ分析」では、両チームのポゼッション(ボール保持時間)、攻撃起点の割合などを紹介。「選手ランキング」では、その選手の出場試合数、コンタクト数、タックル数なども紹介しています。

マッチ分析データは試合後の水曜日に、個人のデータは即時更新されます。数字を見ながら、自分なりの楽しみを見つけてください。



アプリのトップ画面
「試合毎マッチ分析」→「マッチ分析へ」でこんなデータも
「チームランキング」から「得点」や「トライ」など詳細データへ
「選手名鑑」からチーム名を選び、選手プロフィールへ

Googleプレイストア(Android版)またはAppストア(iPhone版)の「トップリーグ」で検索

手のひらにいつもトップリーグデータを!

スマートフォン向け「トップリーグ公式アプリ」は、全チームの選手名鑑、チーム情報、試合日程、結果、各種スタッツ(データ)など、順次コンテンツを充実させてサービスの拡充を図っています。アプリならではの選手情報検索機能や、毎節終了後に更新される選手ごとのプレースタッツなど、オリジナルコンテンツをお楽しみいただけます。11月30日より一部有料化の予定です。

TOP LEAGUE DATA	得点	トライ	トライ失敗	CG	CG成功率	PG	PG成功率	プレースキック成功率	コンタクト数		
トータル	5018	662	25	663	491	74.06%	314	241	76.75%	74.92%	18824
2011-12											
1 試合平均	55.143	7.275	0.275	7.286	5.396	-	3.451	2.648	-	-	206.857
1 試合平均(チーム)	27.571	3.637	0.137	3.643	2.698	-	1.725	1.324	-	-	103.429
2012-13											
トータル	5024	658	21	658	477	72.49%	332	255	76.81%	73.94%	19552
1 試合平均	55.209	7.231	0.231	7.231	5.242	-	3.648	2.802	-	-	214.857
1 試合平均(チーム)	27.604	3.615	0.115	3.615	2.621	-	1.824	1.401	-	-	107.429
2013-14 (7節まで)											
トータル	2699	352	23	352	240	68.18%	187	151	80.75%	72.54%	11737
1 試合平均	48.196	6.286	0.411	6.286	4.286	-	3.339	2.696	-	-	209.589
1 試合平均(チーム)	24.098	3.143	0.205	3.143	2.143	-	1.670	1.348	-	-	104.795